

令和4年度
社会福祉法人 尚生会
事業実績報告書

〒309－1611

茨城県笠間市笠間1 6 3 5－2

TEL 0 2 9 6 － 7 3 － 5 5 6 2

FAX 0 2 9 6 － 7 3 － 5 5 6 3

URL <http://www.shoseikai.com>

< 目 次 >

1. かさまグリーンハウス拠点	1
2. グリーンハウスみと拠点	6
3. グリーンハウスひたちなか拠点	15
4. ケアハウスかさま拠点	26
5. グリーンハウスともべ拠点	35
6. グリーンハウスとちぎ拠点	37
7. グリーンハウス陣屋拠点	43
8. グリーンハウスおおつか拠点	47
9. 尚生会本部	51

令和4年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス

要介護度別入所者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	3	3	2	2	10
女	0	3	10	13	14	40
計	0	6	13	15	16	50
平均介護度	3.9					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	1	2	2	2	2	10
女	0	0	1	1	9	7	13	9	40
計	0	0	2	2	11	9	15	11	50

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	73	85.7
女	103	74	89.3
全体	103	73	89.0

市町村別利用者状況

市町村 性別	笠間市	桜川市	城里町	真岡市	合計
男	8	1	1	0	10
女	38	0	1	1	40
計	46	1	2	1	50

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度 性別	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	0	4	3	0	2	1	10
女	0	0	1	3	6	16	3	3	8	40
計	0	0	1	3	10	19	3	5	9	50

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度 性別	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	1	0	1	3	0	3	2	10
女	0	2	0	4	11	4	18	1	40
計	0	3	0	5	14	4	21	3	50

余暇活動状況

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
生け花クラブ	5	23	季節の花や植物を生ける
書道クラブ	3	12	季節の言葉を入所者と一緒に考え、書く
レクリエーションクラブ	10	42	筋力低下防止と生活意欲の向上を目的としたレクリエーション

ボランティア受入状況

月	延人数	内 容
12	7	そば打ち

会議・委員会

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	6	72	ケース検討、行事検討、サービス向上、勉強会
主任会議	6	45	入所検討委員会、身体拘束廃止、感染症対策、他連絡事項
サービス担当者会議	12	108	介護サービス計画の作成・評価、安全対策
給食会議	12	55	喫食状況・献立・調理内容の確認、調理員会議

研修報告

参加者	場 所	内 容
枝川 庄五・菅谷 ひとみ	オンライン	全国老協LIFE研修・オンデマンド研修
菅谷 ひとみ・関 千春	オンライン	リスクマネジメントA(介護事故防止)
枝川 庄五・雨谷 隼平	オンライン	介護施設における安全対策担当者養成研修
枝川 庄五	オンライン	ICT機器導入 デモンストレーション研修
枝川 庄五	オンライン	施設長・管理者研修
枝川 庄五	オンライン	事業継続計画(BCP)作成研修
枝川 庄五	オンライン	ハラスメント研修
屋岡 純	笠間市消防本部	防火管理者講習
枝川 庄五	オンライン	安全運転管理者等講習
屋岡 純・雨谷 隼平	オンライン	リスクマネジメントB(介護事故防止)
枝川 庄五	オンライン	介護保険施設管理者研修(集団研修・動画)
枝川 庄五	オンライン	ケアプラン連携システム
枝川 庄五	オンライン	原子力災害時の避難体制確保について
枝川 庄五・屋岡 純・関 千春	オンライン	高齢者の権利擁護について

地域貢献事業 ※感染症対策のため活動自粛

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	16	15	8	12	18	21	9	7	7	10	4	5	132
介護事故	10	5	8	10	8	5	5	8	7	7	6	7	86

職員勉強会

年間延参加人数	内容
102	感染症対策基本等(年間6回)
16	事故防止リスクマネジメントについて
37	BCP策定(年間2回)
45	高齢者の尊厳について(年間3回)

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
(1)管 理① 稼働率(予算の執行状況)6ヶ月平均稼働率 S:95%以上 A:94%以上 B:93%以上 C:それ以下)	B	C	B
(2)介護① 感染症に関する勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
介護② 介護・看護の連携によりリスク管理を行ない、入院や事故発生率の軽減が図れるよう知識の向上に努める(合同勉強会実施回数 S:4回以上 A:3回 B:2回 C:1回)	A	B	A
(3)看護 嘱託医及び歯科医と連携し、身体の健康及び口腔内衛生管理を行う事で、異常に対する早期発見・対応の徹底を図り入院者率の減少に努める。(入院者率 S:3%以下 A:3~5% B:5~6% C:6%以上)	B	C	B
(4)栄養 多職種協働によるマネジメントを実施し課題の抽出と解決により低リスク者の管理を行う(高リスク移行割合 S:1%以下 A:2~3% B:3~4% C:5%以上)	S	S	S

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	265	295	3,470
平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	290	265	247	256	306	255	233	222	169	248	230	236	2,957
平均	9.7	8.6	8.2	8.3	9.9	8.5	7.5	7.4	5.5	8.0	8.2	7.6	8.1

総括

【入所】

入所者の高齢化及び重度化が見られ身体介助(全介助)が必要となる方が増加した事で、入院者や長期入院による退所者が多い状況でした。90歳以上の方が半数以上を占めている事から、介護と看護及び医療機関との連携を図り入所者の健康管理について異常の早期発見・早期受診の対応を行ないました。今後も継続して各関係機関と連携を図り入所者の健康管理に努めていきたいと思ひます。

今年度は、施設で初めて入所者の新型コロナウイルス感染症が確認され、ご家族は不安な日々を過ごしていたかと思ひます。幸いにも重度化された方は居りませんでしたが、高齢者施設において「感染の予防及びまん延防止」に万全を期していく事が重要となりますので引き続き、各関係機関と連携し支援して参りたいと思ひます。

【短期入所】

感染症拡大防止の対策を徹底した上で緊急依頼に対しても空床ベッドを活用する等の柔軟な受け入れを行いました。夏以降、県内及び市内の感染者の増加傾向、入所者及び職員の感染により、一時的に受入を中止せざるを得ない状況がありました。短期入所利用者においても重度化が見られ特養入所となるケースも増えています。特養同様に、「感染の予防及びまん延防止」に努め、居宅介護事業所へは「安心して」依頼して頂けるよう、常に最新の情報提供を行いながら支援をしていきたいと思ひます。

令和4年度 事業実績報告

認知症対応型通所介護 かさまグリーンハウス

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	1	0	0	0	2
女	5	4	3	0	4	16
計	6	5	3	0	4	18
平均介護度	2.5					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	2	0	0	2
女	1	0	3	2	4	4	1	1	16
計	1	0	3	2	4	6	1	1	18

年齢 性別	最高	最低	平均
男	89	88	88.5
女	103	61	83.1
全体	103	61	83.7

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
通所職員会議	12	78	個別支援、業務連絡、伝達事項
安全対策会議	12	78	安全対策、感染症対策
運営推進会議	2	20	事業計画、実績報告

研修報告

参加者	場 所	内 容
松本 智美	オンライン	認知症で日本をつなぐシンポジウム「住み慣れた地域で暮らし続ける為に」
綿引 喜代子・加倉井 美栄子	オンライン	茨城県立医療大学けあきゅあオンライン講座（認知症とのおつきあい）

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	4	1	2	3	0	1	3	2	3	4	1	1	25
介護事故	2	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	8

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
13	各委員会について(年間2回)	7	身体拘束廃止(身体拘束適正化委員会)
38	感染症対策基本的知識と理解(年間6回)	6	BCP策定 防災 感染症について
6	認知症高齢者の尊厳について	7	不適切事例(虐待防止委員会)

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会の理解度 S:6回以上 A:5回 B: 4回 C:3回以下)	S	S	S
② 地域や居宅から選ばれる事業所になれるよう認知症プログラムを活かし、定期的なイベント及び行事を開催する事で差別化を図る。 (イベント実施回数 S:5回以上 A:4回 B: 3回 C:2回以下)	S	S	S
③ 併設事業所相談員と合同会議を開催し、事業所の課題に対する 検討及び評価を行い、改善策を取り組む事でサービスの質の向上 及び安定した稼働率が維持できるよう努める。(合同会議実施回数 S:5回以上 A:4回 B: 3回 C:2回以下)	S	S	S

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	222	232	232	222	232	232	225	234	234	210	210	240	2,725
年間実績	216	224	230	211	206	195	195	175	174	167	191	205	2,389
1日平均	10.3	10.2	10.5	10.1	9.4	8.9	9.3	8.0	7.9	8.4	9.6	9.0	9.3

総括

今年度の利用状況は、昨年と比較し減少傾向にありました。要因としては、コロナ感染症や体調不良による急なキャンセルや入院、またご本人の認知症状の進行により在宅生活が難しく、他施設への入所による利用中止者が多く見られました。

ご利用者の楽しみの一つでもある外出行事は、感染症拡大防止の為に実施出来ませんでしたが、生活・創作プログラムを主とした室内行事を充実させる事で、「作る楽しみ」「出来た喜び」「またやりたい」という意欲向上に繋げて参りました。

今後も「認知症に特化したデイサービス作り」を継続し、「得意な事」「出来る事」を大切に、「出来る力」の維持、そしてその方の自信に繋がるよう支援してまいりたいと思います。

令和4年度事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスみと

要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	3	12	8	4	28
女	0	1	30	20	11	62
計	1	4	42	28	15	90
平均介護度	3.6					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	1	6	2	7	8	3	28
女	1	1	1	3	5	17	19	15	62
計	1	2	2	9	7	24	27	18	90

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	69	86
女	104	64	89.5
全体	104	64	88.4

市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	ひたちなか市	大洗町	東海村	笠間市	鉾田市	合計
男	24	3	0	0	0	1	28
女	53	4	3	1	1	0	62
計	77	7	3	1	1	1	90

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度 性別	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	2	4	7	7	6	1	1	28
女	0	1	2	12	11	16	13	1	6	62
計	0	1	4	16	18	23	19	2	7	90

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度 性別	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	5	1	3	5	7	1	6	0	28
女	12	6	1	10	17	6	10	0	62
計	17	7	4	15	24	7	16	0	90

余暇活動状況

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	内 容	年間実施回数	年間延参加人数
おやつ作り	8	147	クリスマス会	5	95
夏祭り	1	19	お正月行事	5	91
敬老会	5	92	節分	3	55
ハロウィン	1	20			

会議・委員会

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
リーダー会議	10	129	ユニット目標の達成報告、業務改善、その他連絡事項
ユニット会議	12	199	ケース検討会、リーダー会議の伝達、事故報告等
リーダー小会議	11	101	スケジュール確認、リーダーからの報告事項、その他
安全対策会議	23	121	事故分析について、事例による再発防止検討会
給食委員会	12	108	食事についての要望や問題点及び改善点
入所検討委員会	4	38	入所順位と新入所者検討
身体拘束適正化委員会	10	129	身体拘束の見直し及び解除検討、権利擁護
感染症対策委員会	10	129	感染症の知識について、標準予防策
ユニットケア推進委員会	12	93	ユニットケア勉強会、ユニットケアの取り組みについて

研修報告

参加者	場 所	内 容
佐藤友哉他3名	オンライン	2022 白十字 介護の日 Dケアセミナー
大津 富三弘・池田 翔太郎	オンライン	80・50問題のハラスメント研修
大津 富三弘	オンライン	安全対策担当者養成研修
池田 翔太郎	茨城県立歴史館	虐待防止対策セミナー
大津 富三弘	オンライン	勤務環境改善セミナー（初めての外国人材採用）
大津 富三弘・田山 祐希子	オンライン	高齢者権利擁護関連研修（全2回）
梅井 正道	オンライン	施設長管理者研修会
大津 富三弘	オンライン	新型コロナウイルス感染症研修
梅井 正道・大津 富三弘	オンライン	生産性向上の取組に関するセミナー
梅井 正道	オンライン	特別養護老人ホーム等施設長会議
大野 健一郎	オンライン	認知症介護実践者研修
山口 諭	オンライン	福祉サービス苦情解決研修会
大津 富三弘	茨城県立歴史館	不当要求防止責任者講習
大津 富三弘	オンライン	ヘビークレーン対応研修
池田 翔太郎	オンライン	労務管理とコンプライアンス研修

地域貢献事業 ※感染症対策のため活動自粛

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	55	72	48	29	27	31	41	37	27	47	56	51	521
介護事故	15	15	12	10	9	12	14	14	15	6	6	7	135

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
15	職員教育について	14	感染症シュミレーション
14	接遇・マナーについて	8	権利擁護について
14	生活習慣病について	9	リスクマネジメントについて
28	高齢者の尊厳(年間2回)	14	災害対策シュミレーション
13	認知症ケアについて		

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	S	A
「誤嚥性肺炎防止」「誤薬ゼロ」「小ミーティングの開催」「事故防止」「尿路感染の予防」等、各ユニット目標の達成(評価方法 S:100%～95%以上 A:95%未満～90%以上 B:90%未満～85%以上 C:85%未満)	B	A	A
嘱託医及び歯科医と連携し、身体の健康及び口腔内衛生管理を行うことにより異常に対する早期発見・対応の徹底を図り入院者減に努める。(入院者率S:3%未満 A:3～5% B:5～8% C:8%以上)	B	A	A
多職種協働によるマネジメントを実施し課題の抽出と解決により低リスク者の管理を行う。(中リスク移行割合 S:0% A:3%以下 B:5%以下 C:7%以下)	A	A	A

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	295	285	295	295	280	295	3,485
平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	285	295	304	267	321	279	322	334	223	255	274	362	3,521
平均	9.5	9.5	10.1	8.6	10.4	9.3	10.4	11.1	7.2	8.2	9.8	11.7	9.7

総括

新型コロナウイルスの猛威は収まることなく、変異株のまん延など入居者の健康を脅かす一年となり施設内でも、感染者が発生しましたが、医療機関や保健所との連携、感染症対策委員会を中心に職員の予防に対する意識向上に努めたことで、感染拡大することなく、被害を最小限に抑えることができました。

【特養】 医療機関からの依頼、居宅や家族からの相談件数が増えており、入居者の健康管理が困難な状況の中、退院前の情報把握や受入れ後のフォロー体制を構築することで、安全な施設生活を提供することができました。また病院へ入院者の定期的な状況確認を行うことで、スムーズな退院受入れや信頼関係の構築に繋げることができました。

【短期】 新型コロナウイルス感染拡大により利用受け入れを中止した月もあり、稼働率に大きく影響した1年でした。しかし、その後に依頼のあった複数の緊急ケース(在宅生活困難者)を特養空床を積極的に活用。多方面からの要望に応え、稼働率を維持することができました。今後も感染症対策を怠ることなく、幅広い要望に応えていけるように努めてまいります。

令和4年度 事業実績報告書

通所介護センターグリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	5	4	4	2	0	15
女	0	8	5	8	4	3	0	28
計	0	8	10	12	8	5	0	43
平均介護度	2.0							

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	2	2	6	3	1	15
女	0	0	0	0	3	14	9	2	28
計	0	0	1	2	5	20	12	3	43

年齢 性別	最高	最低	平均
男	95	73	85
女	95	83	89
全体	95	73	87

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	89	業務内容の見直し、その他連絡事項
安全対策会議	12	89	事故の分析、再防止検討など

研修報告

参加者	場 所	内 容
宇留野 淳	オンライン	ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修会

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
介護事故	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	5

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
15	感染症対策について(年間2回)	15	災害発生訓練・シュミレーション(年間2回)
14	業務継続計画・BCPについて(年間2回)	30	高齢者虐待防止について(年間4回)
7	ハラスメントについて	8	認知症対応について

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
ホームページ、SNSで情報発信し、ケアマネジャーへの営業だけでなく、地域の皆さまに理解を深めていただく。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	B	B	B

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	559	559	559	559	538	559	559	559	559	516	516	581	6,623
年間実績	525	515	525	471	449	517	579	556	291	467	465	527	5,887
1日平均	20.2	19.8	20.2	18.1	18.7	19.9	22.3	21.4	15.3	19.5	19.4	19.5	19.5

総括

12月、デイ利用者よりコロナ発生し、職員、他利用者へ感染拡大となり、9日間の営業停止。その後も利用控える方もいた為、稼働率の低下が続きました。また、ショートステイや入院などのケースが多く、登録者と実利用者数との差が大きく見られました。

今後は、安定した利用者の確保のため、感染症の予防対策に取り組みながら、利用者、家族のニーズに合わせたサービスの提供が出来るように内容の見直し検討を行って参ります。

令和4年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所グリーンハウスみと

居宅介護支援、介護予防支援利用者数

地区	年間延人数	地区	年間延人数
水戸市	1,241	東海村	12
大洗町	75	北茨城市	8
ひたちなか	110	支援(水戸)	238
		合計	1,684

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	3	3	14	18	6	2	1
女	6	11	41	26	12	6	2
計	9	14	54	44	18	8	3
平均介護度	1.6						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上
男	0	2	7	9	11	11	9
女	1	5	10	8	12	29	36
計	1	7	17	17	23	40	45

	最高	最低	平均
男	97	66	81
女	105	51	78
全体	105	51	78

会議等参加状況

参加者	場所	内容
大木 勝之	稲荷第一市民センター	地域ケア個別連絡
大木勝之、沼田由美子	稲荷第一市民センター	地域ケア個別会議(年間4回)
大木 勝之	稲荷第一市民センター	常澄圏域地域ケア連携会議(年間6回)

研修報告

参加者	場 所	内 容
関沢恭鷹・沼田由美子	オンライン	ケアマネ技術向上セミナーⅧ
永田礼子・沼田由美子	オンライン	高齢者の権利擁護について

大木 勝之	オンライン	情報提供研修会
大木 勝之	オンライン	スーパービジョン
大木 勝之	オンライン	水戸市在宅医療介護連携推進研修会

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対応策について理解を深める。(実施回数 S:6回以 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A
利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、サービス計画書を組み立てているか会議の中で、新規相談報告やケース検討、ケアプラン検証の場面で確認する。(6か月で確認できた実施率 S:100% A:95%以上 B:90% C:85%以下)	S	S	S
質の高いケアマネジメントが提供できるよう、各担当利用者のアセスメントからモニタリングの流れを検証確認する機会を設けることで、ケアプランとニーズの接合性を図る。(6か月ごとの検証回数 S:10回 A:8回 B:6回 C:4回以下)	S	S	S

総括

今年度は、新人ケアマネが配属となり事業所全体で育成に取り組みました。各自、初心に戻り利用者本位のケアマネジメントを目指した結果、実施指導では事業所内研修の質の高さ、課題整理総括表を活用した根拠のあるケアマネジメントを褒めて頂いております。

また、困難ケースの支援に対しては、全員で意見を出し合い対応策を検討できました。引き続き、多角的かつ俯瞰的にケースをみるように心掛け、地域の見本となる事業所に成れるよう努めております。

前期は終了者の増加により件数を増やすことができませんでしたが、後期は他事業者から10件の引き継ぎを頂き、件数を増やすことができています。研修に関しては、ZOOM研修を中心に参加することができています。

今後は、同法人の高齢者支援センターと連携し、要介護または要支援となった地域の皆様が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう取組み、地域で選ばれる事業所を目指していきます。

令和4年度 事業実績報告書 水戸市常澄高齢者支援センター

相談者調(年度内新規相談のみ)

稲荷第一地区	18	大場地区	15
稲荷第二地区	13	圏域外	2
下大野地区	9	合計	57

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	合計
男	0	3	5	3	7	2	2	0	22
女	0	1	4	5	8	8	8	1	35
計	0	4	9	8	15	10	10	1	57

年齢 性別	最高	最低	平均
男	93	67	78.4
女	98	65	83.6
全体	98	65	81.6

相談内容内訳

相談内容	年間延件数	相談内容	年間延件数	相談内容	年間延件数
ひとり暮らし	129	医療	159	虐待応協議・立入・保護	4
高齢世帯	10	住まい住宅改修	20	日常生活自立支援事業	4
介護予防	7	経済状態	4	成年後見制度	0
施設入所	81	家族状況	13	消費者トラブル	0
介護方法	1	生活関連	150	ケアマネ相談	4
認知症	162	2次予防事業	2	地域ケア個別会議	0
精神疾患	6	虐待関連	43		
福祉・保健サービス	1,547	虐待の届出・通報	4	合計	2,350

会議等参加状況

参加者	会議名	参加者	会議名
岩下一善・長谷川崇	運営推進会議(年間12回)	岩下一善・長谷川崇	水戸市地域包括支援センター運営協議会(年2回)
岩下一善・長谷川崇	コアメンバー会議(年間6回)	岩下一善・長谷川崇	水戸市地域包括支援センター連絡会議(年12回)
岩下一善・長谷川崇	地域ケア個別会議(年間5回)	岩下 一善	大場地区地域いきいきコミュニティーク(年間2回)
岩下一善・長谷川崇	常澄地区事業者連絡会議(年間6回)	岩下一善・長谷川崇	認知症地域支援推進員会議(年間5回)
岩下 一善	常澄地区民生委員協議会定例会(年間10回)	長谷川 崇	稲荷第一地区地域いきいきコミュニティーク
岩下一善・長谷川崇	常澄地区ケアマネ連絡会議(年間4回)	長谷川 崇	社会福祉士部会
長谷川 崇	水戸市社会福祉協議会常澄圏域協議会	岩下 一善	サービス担当者会

研修報告

参加者	場所	内容
岩下 一善	オンライン	若年性認知症セミナー等(年2回)
岩下一善・長谷川崇	東部高齢者支援センター	認知症関連講座講座等(年間8回)
岩下一善・長谷川崇	オンライン	石崎病院研修会・栗田病院研修会・汐ヶ崎病院講演会
岩下一善・長谷川崇	グリーンハウスみと	ケアマネ技術向上セミナーⅧ
岩下一善・長谷川崇	オンライン	ヤングケアラー支援プログラム
長谷川 崇	稲荷第一市民セミナー	我が家の防災を考える
岩下 一善	オンライン	介護支援専門員支援事業主任介護支援専門員研修
岩下 一善	オンライン	高齢者虐待対応現任者標準研修
岩下一善・長谷川崇	オンライン	情報提供研修会
岩下 一善	オンライン	水戸市カナミッククラウドサービス説明会
岩下 一善	オンライン	水戸市在宅医療介護連携推進研修会参加
岩下一善・長谷川崇	オンライン	水戸保健医療圏認知症疾患医療連携協議会
長谷川 崇	水戸市福祉ボランティア会館	成年後見制度の申立てに係る研修会
岩下 一善	オンライン	第3回茨城地域包括ケア学会
岩下 一善	オンライン	第4回大洗町ケアマネジャー勉強会「生活保護のしくみ」
長谷川 崇	上大野市民センター	知っておきたい医療知識
長谷川 崇	茨城県立青少年会館	法テラス茨城地方協議会(成年後見の申立手続等)

企画講座、交流会

名称	場所	年間参加人数	名称	場所	参加人数
ニコニコサロン	グリーンハウスみと	93	高齢者住まいの看取り研修	酒門市民センター	28
常澄地区シニア作品展	稲荷第一市民センター	166			

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①「認知症カフェ」「本人ミーティング」等、認知症関連のイベント等を定期的に開催し、認知症の人及びそのご家族等への支援につなげる。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	C	C	C
②「地域ケア個別(連絡)会議において支援困難事例を多職種で検討し具体的な支援を導き出す。また定期的に「振り返り」にて事例の検証を行い、地域課題の把握と共有に役立てる。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	B	A	A
③地域と連携のため各種会議(民協定例会など)や教室(介護予防)等へ積極的に向き、権利擁護に関する啓発や高齢者支援センター業務の普及活動を行う。(6ヶ月の実施回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	A	S	A

総括

コロナ禍の影響で認知症カフェの開催が中止となり、目標達成度が低い結果となりました。重点項目である事態把握業務においては、地域別にリストを作成し、741名の訪問調査を実施、次年度も新規での調査継続と、支援が必要と思われるケースについても安否確認の為に訪問を実施していく予定です。

シニア作品展、令和3年度は16の出品者でしたが、今年度は29と出品者が増加し、作品数も400点以上のご協力を頂きました。高齢者の交流や相談、地域の介護保険事業所のPRの場となりました。今年度より、地域のケアマネ連絡会議を定期開催した事により、ケアマネとの情報共有や常澄高齢者支援センターとの連携について検討する事が出来、更にサービス提供の向上に努めて参ります。

令和4年度 事業実績報告書

特別養護老人ホームグリーンハウスひたちなか

要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	7	4	6	17
女	0	0	16	19	18	53
計	0	0	23	23	24	70
平均介護度	4.07					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	2	2	2	1	1	7	0	3	18
女	0	0	0	4	5	18	9	16	52
計	2	2	2	5	6	25	9	19	70

年齢 性別	最高	最低	平均
男	101	60	82.1
女	107	73	90
全体	107	73	88.1

市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	日立市	ひたちなか市	常陸太田	城里町	笠間市	常陸大宮	那珂市	東海村	茂木町	いわき市	合計
男	0	1	13	0	1	0	0	0	0	1	1	17
女	1	1	44	1	0	1	1	1	3	0	0	53
計	1	2	57	1	1	1	1	1	3	1	1	70

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度 性別	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	1	0	2	11	1	2	17
女	0	0	0	3	3	3	29	1	14	53
計	0	0	0	4	3	5	40	2	16	70

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度 性別	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	1	1	1	9	1	4	0	17
女	0	0	0	3	18	10	22	0	53
計	0	1	1	4	27	11	26	0	70

余暇活動状況

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	内 容	年間実施回数	年間延参加人数
レクリエーション	1	18	敬老会	1	80
季節感を感じる	16	305	絵馬・おしるこ	2	28
旬の食べ物を味わう	12	212	食事イベント(テイクアウト、リクエスト食事会)	12	208
夏祭り	3	57	カフェ・おやつイベント	8	110

ボランティア受入状況 ※感染症対策のため受入中止

会議・委員会

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
リーダー会議	8	96	事業進行管理確認, サービスの運営・維持, 各委員会報告, 業務改善検討等
ユニット会議	12	384	リーダー会議等の周知, ケース検討, 職員の知識と技術向上, 業務改善検討, 感染症対策検討
ナース会議	12	48	リーダー会議等の周知, ケース検討, 業務改善検討, 感染症対策検討
入所検討委員会	4	15	待機者状況報告と入所順位決定
サービス向上委員会	12	72	施設のサービス向上について
安全対策会議	12	72	事故分析, 事故予防策について
食事委員会	12	72	食事についての要望や問題点及び改善策について
安全衛生委員会	13	72	感染症対策について, 労働環境について
ユニットケア実行委員会	12	79	個別ケア及び標準化したケアの展開検討について
身体拘束排除委員会	12	96	身体拘束の見直し及び解除検討

研修報告

参加者	場 所	内 容
森島 萌	オンライン	健康づくり提唱のつどい
藤田 弥奈	トラック協会	令和4年度看護実務者研修
杉山 義典	オンライン	介事協研修(全2回)
田口 ひろみ	オンライン	ミールラウンドで管理栄養士が注意すべきポイント
杉山義典・藤澤理恵子・田口ひろみ	オンライン	技能実習関係研修
齊藤悦子・藤田弥奈高信晴美・寺門幸恵	オンライン	新型コロナウイルス感染症に関する特別講習会
杉山 義典	ホテルウエストヒルズ水戸	魅力ある職場づくり経験交流会
杉山 義典	オンライン	医療機関等対象特別管理産業廃棄物管理責任者研修
田口ひろみ・金井美穂子	金上ふれあいセンター	普通救命講習Ⅱ
山崎 徹	オンライン	福祉サービス苦情解決研修会
飛田怜奈・飯尾卓也	ひたちなか商工会議所	Instagramビジネス活用実践講座
山崎 徹	オンライン	PRブランディングセミナー

地域貢献事業 ※感染症対策のため活動自粛

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	41	42	38	70	29	41	32	37	23	58	65	74	550
介護事故	2	2	4	6	5	4	9	4	6	6	4	4	56

職員勉強会

年間延参加人数	内容	年間延参加人数	内容
44	BCP	92	ゾーニング検討・ガウンテクニック(年間2回)
47	BOC	95	リスクマネジメント
49	感染症対策について(年間2回)	49	身体拘束について(年間2回)
95	虐待防止(年間2回)		

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
利用者の尊厳(勉強会の理解度 S:98%以上 A:95%以上 B:90%以上 C:90%未満)	A	A	A
「褥瘡予防」「情報共有」「利用者個々の情報更新」「整理整頓」 等各町の目標達成(達成状況 S:95%以上 A:90%以上 B: 85%以上 C:85%未満)	A	A	A
入院の削減(入院者率 S:1%台以下 A:2~3%台 B:4~ 5%台 C:それ以上)	A	S	A
低リスク者の低栄養による中リスク移行を予防する(中リスク移行 割合 S:0% A:3%以下 B:5% C:7%以下)	S	S	S

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	285	295	285	295	295	285	294	285	294	295	265	294	3,467
平均	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
実績	222	282	307	288	251	284	304	233	241	284	255	233	3,184
平均	7.4	9.1	10.2	9.3	8.1	9.5	9.8	7.8	7.8	9.2	9.1	7.5	8.7

総括

前年度同様年間通してコロナウイルス感染症対策を強化しながら施設運営をしておりましたが、11月～12月に掛けてクラスターが発生し、ご利用者7名職員7名が感染。幸いユニット内の感染で終息することができました。ご家族との交流に関しては、地域の感染状況に合わせ面会制限を一部解除するなど臨機応変に対応することができ、コロナ禍以前の関わりを取り戻しつつある年でもありました。

入院については上期が月平均70日と例年より多くはあったものの下期は37日に留めることができました。要因としては、平均介護度が下がり状態安定者が若干増えたことと、協力医療機関でのクラスターが発生しそれに伴い入院が減少したことが挙げられます。

4月に栄養士を1名追加したことで栄養マネジメント強化加算を取得。日々のミールラウンドによって些細な変化に対する早期発見早期対応が可能となり適切な食事形態で提供することができております。また、厨房調理委託業者の変更に伴い、取り扱う材料の幅が増えたことでメニューのバリエーションも増えご利用者の満足に繋がっております。

令和4年度 事業実績報告書

認知症対応型通所介護センターグリーンハウスひたちなか 健康維持通所型グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況(認知症対応型通所介護センター)

介護度 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	3	2	0	1	0	6
女	0	0	4	3	6	0	1	14
計	0	0	7	5	6	1	1	20
平均介護度	2.3							

要介護度別利用者状況(健康維持通所型)

介護度 性別	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女	2	1	3	0	0	0	0	0	6
計	3	1	3	0	0	0	0	0	7

年齢別利用者構成(認知症対応型通所介護センター)

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	2	2	1	1	0	6
女	0	0	1	2	2	5	2	2	14
計	0	0	1	4	4	6	3	2	20

年齢 性別	最高	最低	平均
男	92	76	82.6
女	98	74	86.2
全体	98	74	85.2

年齢別利用者構成(健康維持通所型)

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	1	0	0	1
女	0	0	0	0	1	3	2	0	6
計	0	0	0	0	1	4	2	0	7

年齢 性別	最高	最低	平均
男	88	88	88.0
女	94	81	87.3
全体	94	81	87.4

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	52名	個別カンファ、業務改善検討、行事検討、感染防止対策
安全対策会議	12	52名	事故防止対策
運営推進会議	2	6名	事業実績、事業計画書報告、家族・民生委員意見報告

研修報告

参加者	場 所	内 容
照沼 真由美	オンライン	BCP策定フォローアップ
照沼 真由美	オンライン	苦情解決体制の仕組み作り
五野上 沙織	オンライン	高次脳機能障害とは
照沼 真由美	オンライン	高齢者の権利擁護(虐待防止・身体拘束)
照沼 真由美	オンライン	サービス従事者の接遇(全2回)
照沼 真由美	オンライン	在宅医療・介護連携に関する講座
照沼 真由美	オンライン	実地指導から運営指導
磯 明花	オンライン	褥瘡対策 身体にかかる圧の影響と対策
照沼 真由美	オンライン	デイサービスにおけるLIFEに関する研修
照沼 真由美	オンライン	認知症ケア(周辺症状に振り回させないケア)
照沼 真由美	オンライン	バーサルインデックス

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	15	28	8	27	10	38	22	27	28	19	16	52	290
介護事故	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	2	1	8

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
43	感染症対策(年間8回)	5	認知症ケア(周辺症状に振り回されないケア)
11	褥瘡対策について(年間2回)	6	腰痛予防
10	サービス従事者の接遇(年間2回)	5	高齢者の権利擁護
6	高次脳機能障害について	5	苦情解決体制の仕組み作り
5	緊急時対応	5	リスクマネジメント

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解深める。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回以上 B:4回以上 C:3回以下)	B	B	B
②HDS-Rの評価ツールを定期的に併用しながら、より詳細にアセスメントをして生活機能全般の把握に努め、本人にあった個別プログラムを実施する。(再アセスメント回数 S:5回以上 A:4回以上 B:3回以上 C:2回以下)	B	A	A

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	227	237	237	226	237	237	226	237	237	216	216	248	2,781
年間実績	212	236	235	183	201	194	191	214	215	206	211	251	2,549
1日平均	10.1	10.7	10.7	8.7	9.1	8.8	8.7	9.7	10.8	10.3	10.6	10.9	9.9

総括

今年度は7月～10月までの間に入院や施設への入所・家族のコロナウイルス感染により利用を控える利用者が増え、実績が90%を下回りました。

毎月1名以上の新規獲得をしておりましたが直ぐには実績には繋がりませんでした。

日々の健康管理や感染症対策に留意し、継続利用できるように体調変化の早期発見に務めます。

利用者の高齢化・認知症の重度化に伴い、更なる介護技術・認知症に対する知識向上が必要になります。柔軟な対応と一人一人の認知症状に合わせた個別支援ができるように、職員の研修参加や勉強会の充実を図ります。

法人内の同事業所やひたちなかの他部門との連携をこれまで以上に密に取り、在宅生活を継続できるようチームとしての支援に努めていきたいと思います。

令和4年度 事業実績報告書

訪問看護ステーション グリーンハウスひたちなか

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	1	9	8	8	7	2	6	10	51
女	4	5	12	11	8	8	8	10	66
計	5	14	20	19	15	10	14	20	117
平均介護度	1.58								

年齢別利用者構造

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	5	5	8	11	11	9	1	1	51
女	4	1	8	7	13	18	10	5	66
計	9	6	16	18	24	27	11	6	117

年齢 性別	最高	最低	平均
男	96	54	76.86
女	97	23	80.7
全体	97	23	79

市町村別利用者状況

市町村 性別	ひたちなか市	水戸市	那珂市	東海村	大洗町	合計
男	44	1	4	1	1	51
女	53	3	3	5	2	66
計	97	4	7	6	3	117

会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフカンファレンス	44	466	新規利用者、利用者情報確認 感染対策確認

研修報告

参加者	場所	内容
野口由美	オンライン	痛みを考える会～在宅医療とCIPN～
大部はるみ	茨城県看護協会教育センター	医療安全・感染管理
野口由美・川又忍	オンライン	がん緩和ケア地域連携の会
坂本はるみ他3名	オンライン	がん緩和ケアと在宅医療を考える会
粉川裕正	オンライン	在宅医療関連の診療報酬・介護報酬の改定について
坂場紀子・菊池聖子・野口由美	オンライン	在宅現場における暴力・ハラスメントの実態と対応
松浦透威	オンライン	生活期における合併症に対するリハビリテーション

坂場紀子	オンライン	第3回つながる学び場大島中学校区
磯崎雄一郎他9名	オンライン	多職種協同のための意見交換会
菊池聖子他4名	オンライン	認知症対応力向上研修
野口由美	オンライン	認知症の食支援がよくわかる！摂食支援マネジメント
坂本はるみ	茨城県立中央病院	認定看護師管理者研修 ファーストレベル
金田里沙・本多弘志	オンライン	訪問看護における自然災害時のBCP作成

職員勉強会

年間延参加人数	内容	年間延参加人数	内容
12	令和4年度訪問診療改定について	12	BCP災害 看護協会主催勉強会
7	摂食嚥下リハビリテーション		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①職員及び利用者の感染予防について、定期的に予防行動の確認ができる。(6か月での実施状況 S:6回以上 A:3回以上6回以下 B:1回～2回 C:0回)	S	S	S
②研修に参加し伝達講習を実施することで職員教育を充実する。(6か月での参加状況 S:7件以上 A:4～6件 B:1～3件 C:1件未満)	A	A	A
③ACPを活用した看取りを実施し、本人、家族に寄り添った看取りケアが実施できる。(6か月での実施状況 S:3件以上 A:2件 B:1件 C:0件)	S	S	S

訪問看護利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	900	900	920	920	920	940	940	960	940	940	940	960	11,180
実績	933	962	1,017	982	973	1,003	981	981	858	849	848	972	11,359

総括

・利用者数は年間延べ11,359名(前年度+656名)と目標を達成することかできましたが、下半期で目標件数に到達できなかった月もあった為今後も、医療機関及び多職種との連携を強化していきたいと思います。

・今年度も新型コロナウイルスの対応の見直しを定期的に行い感染拡大を最小限に抑え業務に取り組むことができました。

・摂食嚥下障害認定看護師からの嚥下の評価や勉強会などを行い、サービスの質の向上に努めることができました。

令和4年度 事業実績報告書

大島中学校区地域包括支援センター / 介護予防おおしま

新規総合相談実人数／(予防プラン直作成数)

大島中学校区	146(589)
--------	----------

総合相談者年齢別利用者構成 ()内は予防プラン直作成対象者

年齢 性別	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	合計
男	4 (0)	4 (0)	8 (1)	13 (2)	21 (3)	18 (5)	4 (4)	1 (1)	73 (16)
女	4 (0)	2 (2)	2 (1)	20 (8)	19 (8)	14 (14)	6 (4)	1 (3)	68 (40)
計	8 (0)	6 (2)	10 (2)	33 (10)	40 (11)	32 (19)	10 (8)	2 (4)	141 (56)

	最高	最低	平均
男	96	47	71.5
女	93	54	73.5
全体	96	47	71.5

相談内容内訳

相談内容	年間延件数	相談内容	年間延件数	相談内容	年間延件数
介護認定	33	成年後見制度等	7	保健・医療に関する相談	19
介護保険サービス	64	高齢者虐待	0	生活問題に関する相談	26
介護予防・生活支援サービス	27	消費者被害	1	安否に関する相談	10
介護保険外サービス	12	施設の相談	19	ケアマネ相談	5
一般介護予防事業等	0	認知症・精神に関する相談	44	合計	267

会議等参加状況

参加者	会議名	内容
山本 義則	常陸太田・ひたちなか医療圏認知症疾患医療センター連携協議会	実績報告、現状と課題
平松 香代子	運営推進会議(年間5回)	活動報告
池田 麻美	社会福祉士会議(年間3回)	地域連携ネットワーク中核機関について
山本 義則	主任ケアマネ会議(年間5回)	連絡事項、協議事項
山本義則・平松香代子・池田麻美	小地域ケア会議(年間3回)	多職種協同による事例検討会
山本 義則	センター長会議(年間3回)	連絡事項、協議事項
山本 義則	連携推進部会(年間3回)	多職種連携の意見交換会
山本 義則	認知症地域支援推進員会議(年間4回)	連絡事項、活動報告、協議事項
山本義則・平松香代子・池田麻美	包括連携会議(年間3回)	専門部会について、連絡事項

平松 香代子	保健師会(年間2回)	今年度の取り組みについて
山本 義則	地域ケア会議	会議の報告・検討、連絡事項
山本 義則	地域包括支援センター運営部会	「緊急性とは何か?」、情報交換会
山本義則・平松香代子・池田麻美	認知症疾患医療連携会議	MCI支援について
平松香代子・池田麻美	水戸保健医療圏認知症医療連携協議会	活動報告、情報交換会

研修報告

参加者	場所	内容
山本 義則・平松 香代子・池田 麻美	オンライン	若年性認知症関連(年間2回)
山本 義則	オンライン	認知症関連(年間2回)
平松 香代子池田 麻美	オンライン	聞こえの勉強会
平松 香代子・池田 麻美	ワークプラザ勝田	消費者被害啓発講演会
山本 義則・平松 香代子・池田 麻美	オンライン	精神症状のアセスメントについて
池田麻美	ワークプラザ勝田	成年後見制度と相続や遺言
平松 香代子・池田 麻美	オンライン	ひきこもりの真実
山本 義則	オンライン	ひたちなか市介護支援専門員研修会
山本 義則	オンライン	ペップトークで介護の世界をより良くしよう
池田麻美	オンライン	高齢者不眠診療の適正な薬物療法を考える
池田麻美	茨城県消費生活センター	人生のエンディングに向けて
山本 義則	オンライン	多職種協働のための意見交換会
池田麻美	オンライン	地域包括支援センター職員課題別研修Bコース

企画講座、交流会

名称	場所	名称	場所
外野ウエルカフェ(年間12回)	ウエルシア外野店	つながる学び場	オンライン
おおしまピクニック(年間5回)	外野第2公園	認知症サポーター養成講座	外野小学校
認知症家族のつどい(年間4回)	ふぁみりこらぼ	東石川婦人セミナー研修会	大島コミュニティセンター
紫峰の会	ホテルレイクビュー水戸	東大島 福寿会 高齢者クラブ	大島コミュニティセンター
「サークルきばらし」家族の会&本人ミーティング	ひたちなか市ふぁみりこらぼ	みつばちカフェ	大島コミュニティセンター
いきいき健康講座「地域で健康づくり」	市民交流センター		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①各自治会や民生委員が開催する定例会等の機会を活用し、権利擁護や認知症等に関する勉強会等を行うことで啓発活動につなげる。(6か月の勉強会等開催数 S:4件以上 A:3件 B:2件 C:1件以下)	S	A	A
②屋外会場を中心とした生活不活発病予防等につなげる為のイベントを積極的に開催する。(6か月の開催回数 S:4回以上 A:3回 B:2回 C:1回以下)	B	A	A
③感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(6か月の実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	B	S	A

総括

65歳以上の方を対象とした相談窓口として開設3年目を迎えました。総合相談支援業務としては、介護保険申請から支援困難ケースまで多種多様なケースに対し各関係機関と連携を取りながら迅速に対応いたしました。また、権利擁護業務としては、成年後見制度の利用が必要な方に対する申し立て支援を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務としては、地域の介護支援専門員に対する支援として随時相談や同行訪問等を行うとともに、小地域ケア会議にて個別の課題解決にも努めました。また、介護支援専門員等を対象とした研修会等も開催し、介護支援専門員等の資質向上にも努めました。

介護予防サービス計画については、地域の介護支援専門員不足を補う為、近隣市町村の介護支援専門員の協力も得ながら進めてまいりました。一人一人の課題に向き合い、その人の自立支援につながることに心がけながら、指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの各介護予防サをービス計画を作成し、要支援者及び事業対象者の介護予防に努めました。

認知症地域支援推進員とは適宜連携し、個別ケースの課題解決を各関係機関と連携しながら進めていくとともに、認知症の家族の会等により認知症の方とその家族に対する支援にも努めました。また、感染予防策を取りながらの認知症カフェの開催や、屋外イベントとして「おおしまピクニック」を開催するなど、コロナ禍においても認知症の方及びご家族の交流の場を確保いたしました。

宅配弁当の業者も地域資源と捉え、独自に作成した「地域見守りにかかわる通報等ガイドライン」を活用し、地域の見守り機能の強化にもつなげました。また、地域からの求めに応じ、認知症予防や健康に関する講座、介護保険制度等に関する講話等を行うことで、地域の啓蒙活動にも努めてまいりました。

令和4年度 事業実績報告書

ケアハウスかさま

要介護度別入所者状況

介護度 性別	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	9	3	1	7	2	0	0	0	22
女	4	7	3	10	3	1	0	0	28
計	13	10	4	17	5	1	0	0	50
介護認定率	74%								

年齢別入所者構成

年齢 性別	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	合計
男	0	0	2	7	1	6	5	1	22
女	0	1	2	2	9	5	6	3	28
計	0	1	4	9	10	11	11	4	50

	最高	最低	平均
男	98	70	83.4
女	98	68	85.2
全体	98	68	84.3

都道府県別入所者状況

	茨城県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	その他	合計
男	15	2	1	0	1	2	1	22
女	21	3	1	0	0	1	2	28
計	36	5	2	0	1	3	3	50

余暇活動状況

内容	年間実施回数	年間延参加人数	内容	年間実施回数	年間延参加人数
シルバーリハビリ体操	19	185	はじめてのヨガ	11	37
3B体操	9	74	DVDリハビリ体操	20	212
ドライブウォーキング	22	130			

会議・委員会

会議名	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	75	入所者について・行事確認、コロナ対策
厨房会議	5	36	メニュー・調理法の確認、その他の確認
懇談会(職員・入所者)	12	129	施設内生活について、感染症予防について、食事メニュー等

研修報告

参加者	場所	内容
畑岡武	ザ・ヒロサワ・シティ会館	安全運転管理者研修
松岡淳子・大島律子	オンライン	高齢者権利擁護研修
畑岡武	茨城県庁	ダイバーシティ経営研修
畑岡武・松岡淳子	オンライン	福祉サービスにおける苦情解決体制の仕組みづくり

地域貢献事業

数	内容	数	内容
479食	子ども食堂(全11回)	99人	オレンジカフェ(全6回)

職員勉強会

年間延参加人数	内容	年間延参加人数	内容
24	感染症対策について(年間4回)	9	高齢者の転倒事故予防について
7	食中毒について	6	気道異物除去
6	高齢者の脱水と熱中症対策について	6	高齢者の交通事故予防について
5	権利擁護について	7	認知症について
5	災害避難時の対応について		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症対策: 感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や 対処法について理解を深める。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
日常生活の維持向上: 毎日のラジオ体操を除いた各種教室・イベントの実施回数(6か月実施回数 S:65回以上 A:60回以上 B:51回以上 C:50回以下)	A	S	A
嗜好に沿った食事提供: 利用者の希望メニューを積極的に取り入れ、栄養バランスを考慮した食事を提供する。(6か月提供食数 S:20食 A:18食以上 B:15食以上 C:14食以内)	S	S	S

ケアハウス利用状況(定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250
実績	1,530	1,581	1,530	1,581	1,581	1,530	1,581	1,530	1,581	1,581	1,428	1,581	18,615

総括

(施設) 1年間に7名の入退所がありました。満床を維持し目標は達成できております。入所者については、高齢化の進展に伴い、身体機能の低下・認知症の進行がみられ、要介護認定者が増加傾向となりました。生活面においては、今年度も感染対策を徹底することで、入所者に感染者を出すことなく過ごすことができております。また、活動内容を見直すことで入所者の参加が増加し、日常生活の維持向上に繋げることができました。今後も施設での自立した生活ができるよう取り組んでまいります。

(地域) コミュニティサロン型(子ども食堂)グリーン食堂は、今年度もライブスルー方式でのお弁当提供として開催しました。来年度は「安心して過ごせる居場所づくり」を目標に、ボランティアの方々と共に、場所の検討、食事の提供をしてまいります。

令和4年度 事業実績報告書

訪問介護 介護センターかさま

要介護度別利用者状況

要介護 性別	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	3	4	7	4	1	2	1	24
女	0	3	7	16	9	3	6	0	44
計	2	6	11	23	13	4	8	1	68
平均介護度	2.1								

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	合計
男	2	2	5	4	2	4	4	1	24
女	2	1	1	2	12	10	11	5	44
計	4	3	6	6	14	14	15	6	68

訪問介護利用者状況

サービス内容	年間延件数	サービス内容	年間延件数	サービス内容	年間延件数
身体介護	2,327	障害者	252	通院等乗降介助	81
身体生活	2,053	移送サービス	227	総合事業	1,580
生活援助	880	自費サービス	222	合計	7,622

年齢構成

	最高	最低	平均
男	98	53	79.0
女	101	56	85.7
全体	101	53	83.3

地域別登録者

地域	施設(ケアハウス)	笠間地区	友部地区	岩間地区	城里町	合計
計	23	29	13	1	2	68

研修報告

参加者	場所	内容
飯島厚美 他3名	オンライン	茨城県訪問介護員中央研修会(全2回)
大森 直美	オンライン	茨城県立中央病院開催感染対策研修会
平岡 裕香	オンライン	花王手指衛生セミナー～手指衛生遵守の向上～
軽部 史千	オンライン	国保中央会ケアプランデータ連携システム説明会
軽部 史千・大森 直美	オンライン	ワイズマンセミナー：外出先での情報共有・記録業務
柳町 美加・篠田 美千代	オンライン	高齢者権利擁護研修～身体拘束等の適正化推進～

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	1	3	2	0	0	1	0	1	8
介護事故	0	2	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	10

会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	74	ケース検討、事業計画確認等

職員勉強会

年間延参加人数	内容	年間延参加人数	内容
6	運転、通院等乗降介助	8	感染症対策(シミュレーション)
6	食中毒予防、熱中症脱水予防	7	自立支援
13	高齢者の尊厳、虐待防止(年間2回)	6	認知症対応力向上
6	安全運転 事故防止	6	リスクマネジメント
6	災害対策(シミュレーション)	6	緊急時の対応

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症対策 感染症正しい理解のため勉強会を開催し、適切な感染対応を実施する。 (実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
② 自立生活支援・重度化防止を踏まえた介護の提供により生活の質を維持する。介護保険サービス利用者(総合事業を除く)の身体介護利用率。 (実施回数 S:60%以上 A:50%台 B:40%台 C:40%未満)	S	S	S

総括

令和4年度

介護保険サービス 訪問介護 5341件(達成率77.9%) 総合事業 1580件(達成率102%)

障害福祉サービス 居宅介護 252件(達成率116%)

・訪問介護は人員配置の影響と、身体介護の獲得の為に終末期ケアや重度の利用者の対応を積極的に行ったことから、短期間で終了するケースが増加していること、利用回数が多かった方の入院・入所による終了等、利用者の入れ替わりが多く、目標達成には至りませんでした。総合事業・障害者居宅介護は目標達成しており、引き続き訪問介護の利用者の確保に努めます。

・ICT化により事務時間の削減・効率化に繋がった分、通院等乗降介助、福祉有償輸送、自費サービスを組み合わせた柔軟な対応を心掛けサービス提供を行いました。

今後も利用者のニーズを察知し、きめ細やかなサービスを提供することで、利用者満足度の向上に努めて参ります。

令和4年度 事業実績報告書

居宅介護支援センターかさまグリーンハウス

居宅介護支援利用者数

地区	年間延人数	地区	年間延人数	地区	年間延人数
笠間市	1,395	筑西市	20	栃木県	232
水戸市	12	桜川市	0	東京都	57
日立市	8	城里町	12	その他県外	58
				合計	1,562

要介護度別利用者状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	2	0	10	15	9	7	0
女	1	8	34	27	14	16	6
計	3	8	44	42	23	23	6
平均介護度	2.1						

年齢別利用者構成

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳以上
男	2	3	9	7	7	8	7
女	3	2	7	6	15	25	48
計	5	5	16	13	22	33	55

	最高	最低	平均
男	98	61	80
女	105	56	81
全体	105	56	81

会議等参加状況

参加者	場所	内容
斉藤 敦子	柿橋公民館	柿橋地区敬老祝賀会
和田 智恵・斉藤 敦子・菊地めぐみ	オンライン	かさまケアマネ会総会
菊地めぐみ・斉藤 敦子	グループホームかさま	グループホームかさま 運営推進会議(年間2回)
和田 智恵	笠間市役所	ケアプラン点検委員会(年間4回)
和田 智恵他3名	地域医療センターかさま	地域ケア会議(年間3回)
斉藤 敦子	茂木町町民センター	茂木町居宅介護支援事業所連絡会
和田 智恵・斉藤 敦子	地域医療センターかさま	かさま ケアマネ会運営委員会(年間11回)

研修報告

参加者	場所	内容
和田 智恵・寺崎 裕子	オンライン	介護支援専門員 専門Ⅰ研修・専門Ⅱ研修(年間3回)

菊地めぐみ	オンライン	介護支援専門員協会 神栖地区会
和田 智恵他3名	オンライン	笠間市介護支援専門員研修会(年間2回)
和田 智恵・菊地めぐみ・斉藤 敦子	オンライン	ケアマネ研修会「カスタマーハラスメントの対応」
和田 智恵他3名	オンライン	スキルアップ講座「もっと知りたい社会資源」
和田 智恵他3名	オンライン	他法人共同研修会:事例検討会
和田 智恵	オンライン	土浦地区研修会
菊地めぐみ	オンライン	日本地域包括ケア学会 第3回大会
菊地めぐみ	オンライン	芳賀郡市管内介護支援専門員連絡会研修

会議

	年間実施回数	内容
サービス提供会議	28	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意点・ケアプラン検証確認

職員勉強会

月	内容	月	内容
4	ケアプラン第1表の署名欄について	10	ヤングケアラーについて
5	相談援助面接の展開について	11	ケアマネ業務の5大変革を押さえよう
6	「完了感コミュニケーション」の技術を学ぼう	12	状態悪化を防ぐために欠かせない口腔・栄養のアセスメント
7	支援経過記録の書き方	1	7大症状の確認・対応ポイント
8	「フレイル支援の3大ポイント」	2	ケアプラン第1表作成のポイント
9	ICT連携・ACPの取り組み・ケアプランデータの連携について	3	医療職が期待する連携のポイントとコツ

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	12月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
医療関係者とスムーズに情報共有が行えるよう、入院時・退院時・通院時の加算取得に努める。(取得割合 S:100% A:90%以上 B:80%以上 C:80%未満)	C	B	B
地域連携や多職種連携のため、研修や地域会議等への参加及び地域活動への協力を積極的に行う。(参加回数 S:7回以上 A:6回 B:5回 C:4回以下)	A	S	S

総括

コロナ感染拡大の影響もあり、新規相談件数が伸びない時期もありました。終了者も多く、登録者数が増えないこともありましたが、包括支援センターや病院等からの相談件数が増え、できるだけ受け入れるように対応しました。今後も利用者様やご家族の意向にそって、懇切丁寧に対応していきたいと思っております。事業所全体で情報を共有し利用者の把握に努め、スムーズに連絡調整ができるようにしていきます。感染症対策をしっかりと行ない、安心安全に対応します。

令和4年度 事業実績報告書

認知症高齢者グループホームかさま

要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	0	0	1
女	3	5	3	5	1	17
計	3	5	4	5	1	18
平均介護度	2.7					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	1	0	0	1
女	0	2	0	0	1	6	6	2	17
計	0	2	0	0	1	7	6	2	18

年齢 性別	最高	最低	平均
男	89	89	89
女	96	67	87
全体	96	67	88

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
女	0	1	6	5	2	1	2	0	0	17
計	0	1	7	5	2	1	2	0	0	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	1	4	2	5	1	4	0	17
計	0	1	4	2	5	1	5	0	18

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	75	行事検討、安全対策、サービス向上、個別ケア、連絡事項
サービス担当者会議	12	75	個別カンファレンス、サービス計画の見直し評価、検討
運営推進会議	6	28	入所者状況報告、運営状況、ひやり・事故報告
身体拘束適正化委員会	6	40	身体拘束指針、マニュアル、拘束適正化等

感染症対策委員会	12	75	感染症対策マニュアル・対応・予防・業務継続
相談員会議	2	—	事業計画立案・実施報告・業務継続計画等

研修報告

参加者	場 所	内 容
小林直美・塚本智美	オンライン	介護支援専門員研修(専門Ⅰ・専門Ⅱ)
仁平忍・仲野英・飯嶋和子	友部公民館	施設職員のための虐待対応講座
塚本智美	オンライン	高齢者権利擁護研修
小林直美	オンライン	高齢者の不眠症診療の適正な薬物療法を考える

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
11	身体拘束・虐待防止について(年間2回)	5	認知症のケアについて
10	リスクマネジメントについて(年間2回)	11	医療面について(熱中症・食中毒)
15	高齢者の尊厳について(年間3回)	5	緊急時の対応について(救急法)
55	感染症対策(年間11回)		

【共用型通所】

要介護度別入所者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	0	1	0	0	2
女	2	0	2	0	0	4
計	3	0	3	0	0	6
平均介護度	2.0					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	1	1	0	2
女	0	0	0	1	2	1	0	0	4
計	0	0	0	1	2	2	1	0	6

年齢 性別	最高	最低	平均
男	91	89	90
女	90	76	83
全体	90.5	82.5	84.8

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症対策感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識対処法について理解を深める。(評価方法 実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	B	B	B
② 事業継続計画 ケアの質を大切に「利用者の自立支援・重度化予防の推進」に取り組むと共に感染症予防に配慮した機能訓練 やレク活動、地域内への外出支援に努める。(評価方法 実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:4回以下)	S	A	A

認知症高齢者グループホーム利用実績(4月～11月:定員9名=100%、12月～3月:定員18名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	92	89	77	65	78	89	100	100	100	93	94	96	89

共用型認知症対応型通所利用実績(定員3名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	90	85	58	65	98	70	98	97	94	72	87	83	83

総括

今年度も、「感染症対策」を重点的に感染症予防に取り組んで参りました。その中でどのような活動が出来るのか又、グループホームの特色を出すために何が必要かを職員と話し合い考え、実行してまいりました。

令和4年度は、共用デイサービスが5月より開始となりました。当初は週2回3名のご利用者様から始まり12月の統合により週5回へ変更しています。また、グループホームも9名から18名になり、利用者様を取り巻く環境も変化しております。利用者様の交流を深めるために季節行事を通して職員も工夫しながらお茶を提供したり、レク活動を行い親睦を深めております。

利用者様の体調は、日ごろから看護師と介護職員が些細な変化にも注意し健康管理をしております。令和5年度に向けては、コロナも落ち着いてまいりましたので、地域活動への参加を促し、利用者様が興味、関心を持つような活動内容に心がけ、感動や笑いを提供してより良いサービスの実現に向けて取り組んで参ります。

令和4年度 事業実績報告書

地域密着型通所介護センターグリーンハウスともべ

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	5	3	0	0	10
女	1	1	6	7	5	1	2	23
計	1	1	8	12	8	1	2	33
平均介護度	2.15							

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	2	0	7	0	0	10
女	0	0	2	3	3	5	7	3	23
計	0	0	3	5	3	12	7	3	33

年齢 性別	最高	最低	平均
男	88	74	83.7
女	99	71	87
全体	99	71	86

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	84	ケース検討、業務連絡、安全対策検討、サービス向上検討等
ナース会議	12	48	個別ケア検討、感染対策検討、体力測定検討等
機能訓練会議	12	48	個別ケース検討(評価を含む)、訓練内容検討等
運営推進会議	2	12	事業計画、実績報告等

研修報告

参加者	場 所	内 容
鈴木 恵子	オンライン	ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修
金子 恵子	オンライン	茨城県立医療大けあきゅあオンライン講座
清水 久美子	オンライン	コグニサイズ実践者研修
金子恵子他4名	オンライン	認知症介護基礎研修
清水 久美子	オンライン	認知症介護実践者研修
清水 久美子	オンライン	認知症対応型サービス事業管理者研修

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
介護事故	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	5

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
7	コロナ禍での安全な活動の提供について	6	認知症高齢者の対応について
13	業務継続計画について(年間2回)	5	高齢者の健康について
12	困難事例の対応について(年間2回)	7	高齢者と運動について
12	職員のメンタル管理について(年間2回)		

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止について必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	S	A
②病気、怪我等を利用とする利用者減を防ぐため、高齢者の抱えるリスや、重度化防止のためのかわり方を学ぶ場を定期的に設ける。(6か月の目標回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	S	A
③利用者の身体機能維持、向上のため、LIFEから提供されるフィードバック票を活用し、利用者のケアのあり方を検討、改善することでPDCAサイクルの促進をする話し合いの機会を持つ。(6か月実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	A	A	A

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間目標	350	375	375	350	365	365	350	350	335	335	320	390	4,260
年間実績	304	306	306	322	309	321	325	329	321	268	272	287	3,670
1日実績	14.5	13.9	13.9	14.6	14.0	15.3	14.8	14.9	16.1	13.4	13.6	12.5	14.3

総括

令和4年度は、コロナ禍の中で、感染予防の徹底を優先しながら、ご利用者とご家族のニーズに合わせる支援を進めてきました。また環境に順応する為のスキルと知識も、リモート研修を受講することで得ることができました。限られた環境の中で、個別での対応、健康管理に重点を置き、ご利用、ご家族が安心して利用できる支援と環境を提供することができました。

今後の取り組みとして、より地域に根差し、ご利用者だけでなく、ご家族のケアを含めて支援の提供に繋げていきます。

令和4年度 事業実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウスとちぎ

要介護度別入所者状況

介護度 性別	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	2	0	0	1	0	3
女	0	4	5	1	0	1	11
計	0	6	5	1	1	1	14
平均介護度	2.0						

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	2	0	0	3
女	0	0	0	0	1	3	3	4	11
計	0	0	0	0	2	5	3	4	14

年齢 性別	最高	最低	平均
男	88	83	86
女	98	80	91
全体	98	80	90

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
女	0	0	1	2	5	2	1	0	0	11
計	0	0	2	3	5	2	2	0	0	14

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	1	0	1	1	0	0	0	3
女	0	2	0	6	2	1	0	0	11
計	0	3	0	7	3	1	0	0	14

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	55	感染症及び虐待について・安全対策検討など

研修報告

参加者	場 所	内 容
深谷 哲央	オンライン	介護支援専門員更新研修

宮脇 喜一・森田 学	オンライン研修	高齢者の予防的スキンケア
田中 博之	オンライン	認知症介護実践者研修
田中 博之	オンライン	認知症対応型サービス事業管理者研修
桜井 秀樹	茂木町町民センター	認知症フレンドリー講座

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	2	3	2	3	0	1	3	2	2	2	3	2	25
介護事故	2	4	1	0	3	1	2	0	2	1	3	2	21

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
10	事業計画について(年間2回)	6	感染症について
4	緊急時対応について	4	安全運転について
4	熱中症について	4	介護リスクマネジメント
9	虐待について(年間2回)	4	防災について
10	介護技術(年間2回)		

【共用型通所】

要介護度別入所者状況

介護度 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	0	0	0	1
女	1	1	0	0	0	2
計	1	2	0	0	0	3
平均介護度	1.6					

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	0	0	0	0	0	0	2	1	3

年齢 性別	最高	最低	平均
男	92	92	92
女	95	94	94
全体	95	94	90

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
毎月1回は、他法人事業所ケアマネ等と連絡をとり合い、空床などの情報交換を実施。新規及び待機者確保、また、他法人との信頼関係構築に努める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
病気や事故などによる入院者になるべく出ないように、協力医や職員間での連絡、相談を密にとり対応する。(6ヶ月間で入院 S:なし A:2名以下 B:3名以下 C:4名以上)	A	C	B

認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	94	97	97	95	94	97	100	97	96	84	80	78	92

共用型認知症対応型通所介護利用実績(定員3名=100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
実績	94	97	97	95	94	97	100	97	96	84	80	78	92

総括

令和4年度グループホーム入院者上半期2名、下半期4名。長期入院による退所などの為、満床となりませんでした。

利用者の健康管理を重視しておりますが、ご利用者も高齢の為、急な病気の発症により長期入院となり、退所となられる方がおられます。今後も利用者の健康管理を重視し、長期入院とならないように病気の早期発見に努めます。

18名満床を目標に、営業区域を拡げ、新しい関係機関を回り、新規獲得及び待機者確保に努めて参ります。

共用型認知症対応型通所介護では、ご利用者やご家族のコロナ感染症や持病による療養期間の為、稼働率低下の月がありました。目標達成となるように新規獲得に努めて参ります。

令和4年度 事業実績報告書

訪問入浴介護センターグリーンハウスとちぎ

要介護度別利用者状況

介護度 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	0	2	3	3	9
女	0	0	1	0	1	3	7	12
計	0	0	2	0	3	6	10	21
平均介護度	4.0							

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	1	4	2	1	0	0	0	9
女	2	1	1	0	1	0	3	4	12
計	3	2	5	2	2	0	3	4	21

	最高	最低	平均
男	80	58	84.5
女	105	56	72.1
全体	105	56	79.2

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	S	S
安定した利用者確保の為、ケアマネやご家族との情報交換及び相談事など対応継続し新規利用者及び待機者を確保する。(新規利用者確保6ヶ月間 S:12人以上 A:9人以上 B:6人以上 C:5人以下)	S	S	S

総括

3月現在、訪問入浴では21名の方にご利用頂いております。また、益子町からの委託事業として、障害者1名のご利用があります。 新型コロナウイルス感染対策にご利用者様、ご家族様、関係機関の方々のご協力を頂くことができました。 今後も居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションなどの関係機関との連携、情報交換を密に取り合い、1人でも多くの方にご利用頂けるように努めて参ります。
--

令和4年度 事業実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウスやまうち

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	3	0	1	1	0	6
女	1	0	3	2	3	1	2	12
計	1	1	6	2	4	2	2	18
平均介護度	2.2							

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	1	1	2	2	0	6
女	0	0	0	0	0	3	6	3	12
計	0	0	0	1	1	5	8	3	18

	最高	最低	平均
男	93	77	86
女	103	85	92
全体	103	77	90

会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
検討会議	12	70	個別サービス 安全対策会議 担当者会議 感染症対策委員会 虐待防止委員会(権利擁護)

研修報告

参加者	場所	内容	参加者	場所	内容
伊藤 祥永	市貝町町民センター	コロナ禍でのフレイル予防	伊藤 祥永	オンライン	大人の発達障害の対応
伊藤 祥永	茂木町町民センター	認知症フレンドリー講座	伊藤 祥永	茂木町町民センター	介護保険住宅改修研修会

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	4	0	5	0	2	28	23	21	1	17	30	13	144
介護事故	4	0	1	1	0	3	1	0	0	1	0	1	12

職員勉強会

人数	内容	人数	内容
6	事業所加算	6	認知症行動・心理症状
6	事業計画書	5	急変時の連絡手段
5	熱中症対策	6	災害時のシミュレーション
6	車輛運転	6	行方不明発生時の訓練

5	ハインリッヒの法則	6	サービス評価
7	介護技術	7	避難訓練

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染対策:感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。【実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	A	A
②感染症に対する知識を深め、利用者及び家族へ助言を行い、入院等が発生しないように健康管理に努める。【入院件数 S:0件 A:2件 B:3件 C:4件以上】	A	B	A
③利用者及びご家族の生活や在宅介護等のニーズを定期的にあセスメントを実施しサービス支援に結び付ける。【相談件数 S:6回以上 A:5回 B:4回以上 C:3回以下】	A	A	A

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目 標	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25
実 績	21	21	21	21	20	20	20	21	20	18	19	18	20

総括

年間通し、新規利用者よりも利用中止者の数が多く、目標登録者数の確保ができませんでした。
 中止(解約)理由の多くは、長期入院及び状態悪化での在宅生活困難なケースが多い傾向となっております。
 又、元来拡大家族が多い地域でしたが、近年は核家族化となっており、在宅介護者の割合が減少しております。
 地域・個別に応じた介護サービスの提供を図り、地域に根差した施設運営を目指し、利用者・家族のニーズの再度見直しをおこない、通い・訪問・宿泊を組み込みながら状態に応じ、柔軟な介護サービス提供をして参りたいと思います。
 包括・居宅・病院等への営業をおこない、病院から在宅に戻る際の拠点としての機能を積極的にPRし、利用につなげて参りたいと思います。

令和4年度 実績報告書

認知症対応型グループホーム グリーンハウス陣屋

要介護度別入所者状況

要介護 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	1	0	2	4
女	1	1	3	3	6	14
計	1	2	4	3	8	18
平均介護度	4.1					

年齢別入所者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	1	1	2	0	0	4
女	0	0	0	0	4	3	2	5	14
計	0	0	0	1	5	5	2	5	18

年齢 性別	最高	最低	平均
男	86	75	82
女	103	83	90.9
全体	103	75	88.9

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
男	0	0	0	1	1	0	0	0	2	4
女	0	0	1	1	0	7	4	0	1	14
計	0	0	1	2	1	7	4	0	3	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	0	2	0	2	0	4
女	0	0	0	0	5	3	6	0	14
計	0	0	0	0	7	3	8	0	18

会議

内 容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	11	90	個別ケア・行事検討・身体拘束適正化・感染症対策・高齢者虐待防止等
サービス担当者会議	11	90	サービス計画の見直しと評価・検討
運営推進会議	6	53	入所者状況報告・事業計画・事業実績他

安全対策会議	12	51	事故報告書等による検討・今後の安全対策
--------	----	----	---------------------

研修報告

参加者	場 所	内 容
小薬 猛	オンライン	茨城県認知症対応型サービス開設者研修
飛田 亮	オンライン	認知症介護実践者研修
全職員	グリーンハウス陣屋	白十字「おむつの当て方講座」「高齢者の予防的スキンケア」
小薬 猛	オンライン	令和3年度介護保険サービス事業所等集団指導説明会

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	3	2	1	0	0	0	0	2	1	0	2	11
介護事故	4	2	3	2	6	3	5	6	6	6	3	1	47

職員勉強会

年間延参加人数	内 容	年間延参加人数	内 容
17	リスクマネジメントについて・身体拘束適正化(年間2回)	9	口腔内ケア・認知症ケアについて
8	感染症予防・対策について	7	食中毒予防・対策について
9	看取り期のケア	15	接遇・虐待防止・高齢者の尊厳(年間2回)
18	緊急時対応・看取り介護について(年間2回)	7	認知症に対する理解とケアについて

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。【勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	A	A
②介護・看護の連携によりサービスの質の向上を図り、感染症や病症の早期発見に努め入院や事故発生率の軽減になるよう知識や対応法の向上に努める。【勉強会の実施・研修会参加 S:7回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	A	A

認知症高齢者グループホーム利用実績(定員18名＝100%) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98
実績	98	89	96	100	100	96	95	98	94	94	96	97	96

総括

令和4年度は、新規入居者の確保に時間を要し、年間の目標稼働率98%のところ稼働率96.1%という結果でした。年間退去者が4名と例年より多く契約空床が増えてしまったことが稼働率減少の要因です。 また8月には新型コロナウイルス感染がみられ、入院者は出なかったものの施設内療養により一層の感染対応が必要となり、入居者及び職員が疲弊する期間ともなりました。今回の経験を今後の感染症対策に活かすとともに、感染症拡大とならぬよう日々の体調管理に努めていきたいと思ひます。 入居者の入替もあり、介護度・年齢共に軽減化するも依然グループホームとしては重度化の状況です。介護事故等も予防する上で、基本的な介護スキルの向上や、認知症ケアの知識向上、看取りに対する研修を勧め、入居者に安心して過ごしていただき、家族の信頼と満足となるサービス提供が行えるよう努めていきたいと思ひます。

令和4年度 実績報告書

小規模多機能型居宅介護 グリーンハウス陣屋

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	1	0	0	0	2
女	2	2	6	4	1	1	0	16
計	2	2	7	5	1	1	0	18
平均介護度	1.52							

年齢別利用者構成

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	1	1	0	2
女	0	1	2	4	2	2	5	0	16
計	0	1	2	4	2	3	6	0	18

年齢 性別	最高	最低	平均
男	85	94	89.5
女	94	68	83.6
全体	94	68	84.3

会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	59	問題ケースの検討・行事検討・多職種との連携確認・感染症対策・高齢者虐待防止等
運営推進会議	6	53	運営状況報告・行事内容活動報告・連絡事項・意見交換
安全対策会議	8	29	要因分析・安全対策・再発防止

研修報告

参加者	場所	内容
白取 由紀	オンライン	小規模多機能実践報告会
白取 由紀・木本 裕美	県西生涯学習センター	筑西市在宅医療・介護連携推進事業 多職種勉強会
白取 由紀	筑西市総合福祉センター	包括的・継続的ケアマネジメント研修会「成年後見制度について」
手塚 美知子	オンライン	白十字 Dケアセミナー「高齢者の予防的スキンケア」

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
介護事故	0	2	0	3	0	0	1	1	1	1	0	0	9

職員勉強会

年間延参加人数	内容	年間延参加人数	内容
10	高齢者の尊厳・接遇・虐待防止について(年間2回)	6	感染症予防・対策について
12	リスクマネジメント・身体拘束適正化(年間2回)	6	食中毒予防・対策について
7	熱中症予防・対策について	6	看取り期のケアについて
7	緊急時の対応について	5	認知症に対する理解とケアについて
5	口腔ケアについて	4	介護技術

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。【勉強会実施回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下】	A	S	A
入院による利用者数の減少を抑える為に、家族へ感染症予防に関する情報を提供し、施設と在宅で継続された感染症対策ができるようにする。また看護師、医療機関とも連携を図り体調管理を行う。【感染症罹患患者: S:0名 A:1名 B:2名 C:3名以上】	C	C	C
各職員が協同して、言葉遣いや気遣い、環境整備に心掛け快適に過ごしていただけるように努める。評価方法:接遇状況シートを用いる【評価45点満点中 S:43点以上 A:42~40点 B:39~37点 C:36点以下】	A	A	A

登録者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	27	28	28	28	28	29	29	29	29	29	29	29	29
実績	25	24	25	25	24	21	20	20	18	17	17	18	21

総括

令和4年度は、登録者25名からスタートしましたが、8月以降より入院・施設入所・死亡が相次ぎ、年間での利用中止者は13名となりました。反して年間の新規利用者は7名にとどまり、稼働率低迷の要因となりました。新年度も新規利用者の獲得に励み、目標達成となるよう努めてまいります。

職員の入替が生じておりますので、ケアの質の低下とならぬよう職員育成にも努めてまいります。

令和4年度は新型コロナウイルスの感染が発生し、一時利用者受け入れを中止しました。引き続き感染対策に配慮をしつつ、状況に合わせてご利用者が楽しんで過ごせる行事等を実施していきたいと思ひます。

令和5年度も、健全な小規模多機能の運営ができるよう、近隣の包括、居宅、病院等と連携をはかり、病院から在宅に戻る際のサポートを実施していることをPRしてまいります。

併せて、長期入院防止のため、介護・看護・協力医の連携、ご家族との情報共有を深め、ご利用者の健康管理を徹底したいと思ひます。

令和4年度 事業実績報告書

多機能型重症児デイサービス グリーンハウスおおつか

障害児通所利用状況

(児童発達支援)

(放課後等デイサービス)

区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計	区分 性別	重症心身 障害児	重症心身 障害児以外	合計
男	3	1	4	男	3	0	3
女	3	0	3	女	5	0	5
計	6	1	7	計	8	0	8

年齢別利用者構造

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

年齢 性別	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	合計
男	0	0	1	1	3	2	0	0	7
女	1	0	1	0	1	2	2	1	8
計	1	0	2	1	4	4	2	1	15

市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	那珂市	笠間市	茨城町	合計
男	5	0	0	3	8
女	7	0	0	0	7
計	12	0	0	3	15

会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフミーティング	6	36	個別支援内容・業務改善等

研修報告

参加者	場所	内容
海老名恵子	オンライン	茨城県心身障害者福祉協会 虐待防止・権利擁護研修
海老名恵子	オンライン	障害福祉サービス事業者等集団指導 水戸市
海老名恵子	オンライン	福祉サービス苦情解決研修会
海老名恵子	オンライン	令和4年度障害福祉関係指導監督職員等支援研修
海老名恵子	ザ・ヒロサワ・シティ会館	令和4年度障害福祉サービス事業所等管理者研修会
海老名恵子・平井 孝子	オンライン	令和4年度小児在宅医療勉強会(年間2回)

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4

職員勉強会

年間延参加人数	内容
6	非常時の対応(感染症等)・発電機操作方法

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
①感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処方法について理解を深める。(勉強会回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回以下)	S	A	A
②利用者様の個別性を重視し、それぞれのニーズに合わせた適切な支援を提供する。(苦情件数 S:0件 C:1件以上)	S	S	S
③利用者様や、その家族様の現状を把握し、利用者様が求めるサービスを提供する為に事業所内相談支援を実施する。(見直し割合 S:100% A:95~99% B:90~94% C:90%未満)	A	A	A

障害児通所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	99	99	99	99	95	99	99	99	99	95	95	99	1,176
実績	90	90	82	71	79	74	70	73	76	83	74	86	948

総括

令和4年度は、7月～12月までは感染症の影響から実績に結び付ける事ができませんでした。

事業所内では、感染症対策の勉強会を通じ、対応について知識・技術を向上させ蔓延防止に努める事ができました。他の事業所と、オンラインでの情報交換を行い運営状況等の情報共有に努め、関係性を向上させる事が新規利用者の確保に繋がりました。

令和5年度は、職員体制が変わる事で業務見直しを行い、効率よく利用者対応出来るよう努めます。また、放課後デイ利用者が増えているため、送迎等を工夫しご家族の希望に沿った対応を心がけ、利用実績に結び付けたいと思います。

令和4年度 事業実績報告書

訪問看護ステーショングリーンハウスみと

要介護度別利用者状況

要介護 性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	1	2	4	6	1	6	0	8	28
女	2	1	7	7	8	4	0	1	30
計	3	3	11	13	9	10	0	9	58
平均介護度	2.3								

年齢別利用者構造

年齢 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	4	1	6	2	6	6	3	0	28
女	1	2	6	3	3	6	3	6	30
計	5	3	12	5	9	12	6	6	58

年齢 性別	最高	最低	平均
男	93	49	74.3
女	101	69	82.9
全体	101	49	78.8

市町村別利用者状況

市町村 性別	水戸市	茨城町	笠間市	大洗町	合計
男	15	0	9	3	27
女	14	2	15	0	31
計	29	2	24	3	58

会議

内容	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
ケアカンファレンス	11	70	利用者に対する介入・感染症対策等

研修報告

参加者	場所	内容
船橋 健太	オンライン	BOBATH Seminar in 2022（全5回）
上野 美砂記他3名	オンライン	フレイル・サルコペニアの予防・管理を見据えた高齢者糖尿病治療
磯 和利	ザ・ヒロサワ・シティ会館	安全運転管理者講習
上野 美砂記・武藤俊典	オンライン	訪問看護における自然災害時のBCP作成について
武藤 俊典・因 隼人	オンライン	茨城県地域リハビリテーションアドバイザーの会（全2回）
船橋 健太・武藤 俊典	オンライン	茨城県リハビリテーション研修会

川村 和美	茨城県看護事業協議会	看取りの看護
船橋 健太	オンライン	りはのめPT(全3回)
船橋 健太	オンライン	りはのめPT BOBATH Seminar in 2022(全5回)
船橋 健太・武藤 俊典・因 隼人	オンライン	高次機能障害地域支援拠点病院主催研修会事例検討会

職員勉強会

参加人数	内容	参加人数	内容
6	BCP(感染発生時)の対応について	5	検査データの見方・薬の作用・副作用
6	BCP(災害時発生時)の対応について	7	高齢者虐待防止
6	嚥下の評価・感染症・身体拘束・虐待防止	7	事業目標及び運営について
5	高次脳障害の評価について		

年間サービス実施目標

目標	9月評価	3月評価	年間評価
① 感染症の勉強会を開催し、感染予防や感染拡大防止に必要な知識や対処法について理解を深める。(勉強会回数 S:6回以上 A:5回 B:4回 C:3回)	A	A	A
② 延べ利用件数に占める医療保険の割合を増加する。(6か月での医療保険割合 S:20%以上 A:17~20%未満 B:15~17%未満 C:15%未満)	S	A	A
③ 研修に参加し伝達講習を実施することで職員教育を充実する。(6か月での参加状況 S:7件以上 A:4~6件以上 B:1~3件 C:1件未満)	A	A	A

訪問看護利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	500	520	540	560	580	540	540	540	540	540	540	540	6,480
実績	431	473	508	413	397	403	367	420	386	378	393	432	5,001

総括

令和4年度は、9月に管理者が変わり営業活動等に影響が生じましたが、新体制となり職員一人ひとりが業務を見直し、営業活動及びオンライン研修を受講し、専門職として知識を高め事業所間で情報を共有し、サービスに繋げる事が出来ました。令和3年度の実績は4,429件、令和4年度は5,001件となり、1日平均は19.5人と実績は徐々に増えてきていますので、今後も収支状況を常に共有し意識してまいります。

令和5年度は、看護師4名となりますので、医療分野での利用者確保に努めます。人材育成においては、職員全体で成長をしていくことをテーマに置き努力していきたいと思っております。

令和4年度 実績報告書

尚生会本部

評議員会・理事会開催録

区分	回数	日時	出席者	内容
理事会	142	R4.6.2	理事6名 監事2名	1. 決議された事項 ・令和3年度社会福祉法人尚生会各会計決算について 1)各会計決算報告 2)令和3年度監事監査の結果報告 ・令和4年度社会福祉法人尚生会第一次補正予算(案)について ・社会福祉法人尚生会評議員の退任、候補者の推薦(案)について ・グリーンハウスみと 給食委託契約(案)について ・就業規則の一部改正(案)について ・給与規程の一部改正(案)について ・評議員会(第81回)の招集(案)について
評議員会	81	R4.6.17	評議員4名 監事2名	2.了承された報告 (1)職務の執行状況の報告について、理事長専決事項について 1)企業財産包括保険(火災保険)の報告について 2)介護保険・社会福祉事業者総合保険(賠償責任保険)の報告について 3)介護保険請求ソフト「ワイズマン」の契約更新の報告について (2)その他報告が必要と認められる事項 1)水戸市常澄高齢者支援センター運営業務受託の更新について 2)ひたちなか市大島中学校区地域包括支援センター運営業務受託の更新について 3)介護老人福祉施設かさまグリーンハウス大規模改修工事及び認知症高齢者グループホームかさま改修工事の業者決定の報告 4)準職員就業規則一部改正について 5)令和3年度事業実績報告について
理事会	143	R4.11.22	理事5名 監事2名	1.決議された事項 ・グリーンハウスみと及びグリーンハウスひたちなか電気供給契約の変更(案)について ・グリーンハウスひたちなか土地購入(案)について ・かさまグリーンハウス太陽光発電システム設置工事に係る業者選定(案)について ・令和4年度社会福祉法人尚生会第二次補正予算(案)について ・定款の一部改正(案)について ・社会福祉法人尚生会経理規程の一部改正(案)について ・障害者生活介護事業所グリーンハウスいずみ事業の廃止(案)について ・評議員会(第82回)の招集(案)について
評議員会	82	R4.12.1	評議員6名 監事2名	2.了承された報告 (1)職務の執行状況の報告について、理事長専決事項について 1)グリーンハウス陣屋「介護ロボット見守り支援機の整備」の報告について 2)車両処分の報告について (2) 監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1)消防立入検査結果報告について(ケアハウスかさま・法人本部) 2)外部評価結果報告について(グリーンハウス陣屋) 3)サービス事業者等運営指導について(グリーンハウス陣屋) (3)その他報告が必要と認められる事項 1)介護老人福祉施設かさまグリーンハウス大規模改修工事と認知症高齢者グループホームかさま改修工事の経過報告について 2)準職員就業規則一部改正について 3)育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
理事会	144 (書面)	R4.1.17	理事6名 監事2名	1.決議された事項 ・旧認知症高齢者グループホームかさまグリーンハウスの建物賃貸(案)について ・定款の一部改正(案)について
評議員会	83	R4.1.25	評議員7名	・経理規程の一部改正(案)について

	(書面)		監事2名	・評議員会(第83回)の招集(案)について
理事会	145	R5.3.1	理事6名 監事2名	1.決裁された事項 ・施設長等の任免その他重要な人事(案)について ・社会福祉法人尚生会 役員の退任、候補者の選任、再任及び選定(案)について ・評議員選任・解任委員会の委員(職員)の退任・選任(案)について ・認知症対応型「通所介護センターグリーンハウスともべ」の事業変更(案)について ・令和5年度社会福祉法人尚生会事業計画(案)について ・令和5年度社会福祉法人尚生会予算(案)について ・社会福祉法人尚生会給与規程の一部改正(案)について ・評議員会(第84回)の招集(案)について
評議員会	84	R5.3.10	評議員6名 監事2名	2.了承された報告 (1) 理事長・業務執行理事の職務の執行の状況(理事長専決事項について) 1)特浴機の購入について(かさまグリーンハウス) 2)電動ベッドの購入について(かさまグリーンハウス) 3)新館2F南側他系統室外機修繕工事の報告について(グリーンハウスみと) (2) 監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1) 社会福祉施設一般検査の結果について (本部・みと・ひたちなか・ケアハウスかさま・介護センターかさま・ともべ・おおつか) 2)車両処分の報告について (3)その他報告が必要と認められる事項 1)大規模改修工事に伴う市中銀行からの借入報告について (かさまグリーンハウス) 2)ケアハウスかさま「給水加圧ポンプ更新工事」に係る業者決定の報告について 3)車両購入の報告について 4)車両処分の報告について (4)監督官庁が実施した検査又は調査の結果報告(改善指示がある場合は、その改善状況) 1)消防立入検査結果報告について(とちぎ・やまうち) 2)実態把握のための事業所訪問の結果について(とちぎ・本部) 3)外部評価結果報告について(かさま) (5)その他報告が必要と認められる事項 ・準職員就業規則の一部改正(案)について

法人会議

年間延参加人数	場所	内容
58	法人本部	尚生会連絡会議(年間2回)
17	法人本部	ナース会(年間2回)

法人研修

年月日	参加人数	場所	内容
R4.5.13	11	グリーンハウスみと	オムツの正しい知識を持ち、適切な使用方法を学ぶ
R4.9.14	20	オンライン	1年次研修「交通安全について」
R4.11.11	15	法人本部	2年次研修「認知症の理解と虐待防止」
R5.3.8	12	グリーンハウスみと	3年次研修「摂食嚥下障害の基礎知識と臨床技術」
R5.3.28	201	オンライン	全体研修「令和5年度社会福祉法人尚生会経営方針」

研修報告

参加者	場 所	内 容
河又 みゆき	オンライン	茨城県女性管理職育成研修 ～若手女性社員向け～

檜崎 宮子	FUJIFILM	ここから始めるDX！セミナー・展示会
檜崎 宮子・河又 みゆき	三の丸庁舎	ストレスチェック説明会
北村 多果子	ホテルクリスタルパレス	第8回ひたちなかケアセッション
檜崎 宮子	オンライン	デジタル化で進める業務改善と働き方改革
檜崎 宮子	オンライン	働き方改革推進支援セミナー
北村 多果子	ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸	魅力ある職場づくり 経験交流会
北村 多果子	リリーこども&スポーツ専門学校	令和4年度 リリー&スポーツ専門学校 第32回介護ふくし学科卒業研究発表会

苦情解決状況(意見要望を含む) ※令和4年度なし

有資格者数

	社会福祉士	介護支援専門員	介護福祉士	社会福祉主事	看護師	PT・OT
合計	7	47	153	25	44	9

障害者雇用状況

事業所	人数	事業所	人数
かさまグリーンハウス	1	グリーンハウスひたちなか	1
ケアハウスかさま	2	グリーンハウス陣屋	1
グリーンハウスみと	1	合計	6名

実習生受入れ状況

受入れ施設	年間延受入人数	実習校
グリーンハウスみと	9	水戸高等特別支援学校
グリーンハウスひたちなか	30	茨城キリスト教大学 アール医療福祉専門学校
グループホームかさま	13	笠間高等学校 友部特別支援学校

処遇改善加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R4.4.15、R4.5.16、R4.6.15 R4.7.15、R4.7.15、R4.9.15 R4.10.17、R4.11.15、R4.12.15 R5.1.16、R5.2.15、R5.3.15	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム)、みと(介護老人福祉施設、通所介護)、ひたちなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)、ケアハウス(通所介護、グループホーム、訪問介護)、ともべ(通所介護)、とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)、陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)、おおつか(多機能型重症児ディサービス)、いずみ(障害者)	2,541	103,693,912

特定処遇改善加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R4.4.15、R4.5.16、R4.6.15 R4.7.15、R4.8.15、R4.9.15 R4.10.17、R4.11.15、R4.12.15 R5.1.16、R5.2.15、R5.3.15	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム)、みと(介護老人福祉施設、通所介護)、ひたちなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)、ケアハウス(通所介護、グループホーム、訪問介護)、ともべ(通所介護)、とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)、陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)、おおつか(多機能型重症児ディサービス)、いずみ(障害者)	3,050	31,604,710

支援補助金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R4.4.15、R4.5.16、R4.6.15 R4.7.15、R4.8.15、R4.9.15 R4.10.17、R4.11.15、R4.12.15 R5.1.16、R5.2.15、R5.3.15	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム)、みと(介護老人福祉施設、通所介護)、ひたちなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)、ケアハウス(軽費、通所介護、グループホーム、訪問介護)、ともべ(通所介護)、とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)、陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)、おおつか(多機能型重症児ディサービス)、いずみ(障害者)	2,689	12,650,333

ベースアップ加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
R4.4.15、R4.5.16、R4.6.15 R4.7.15、R4.8.15、R4.9.15 R4.10.17、R4.11.15、R4.12.15 R5.1.16、R5.2.15、R5.3.15	かさま(介護老人福祉施設、認知症対応型通所、グループホーム)、みと(介護老人福祉施設、通所介護)、ひたちなか(介護老人福祉施設、認知症対応型通所)、ケアハウス(通所介護、グループホーム、訪問介護)、ともべ(通所介護)、とちぎ(グループホーム、訪問入浴、小規模多機能型居宅介護)、陣屋(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)、おおつか(多機能型重症児ディサービス)	751	3,432,080

本部地域貢献活動

項 目	内 容
多目的ホール貸出	エアロビクス・ステップ・ヨガ・ストレッチポール

年間サービス実施目標

目 標	9月評価	3月評価	年間評価
各施設、事業所へ財務状況を周知、理解を促し具体的対応策による指導を行う。 (黒字事業所割合 S:91~100% A:71~90% B:51~70% C:41~50%)	B	A	A
業務のシステム化を図り、経費削減に繋げる。 (軽減・効率化できた件数 S:6件以上 A:4~5件 B:2~3件 C:1件)	A	A	A
法人職員のストレス軽減の為の取り組みを実施し、高ストレス者1%減を目指す。 (取組み件数 S:4件 A:3件 B:2件 C:1件)	B	C	C

総括

令和4年度の大きな業務改革は労務業務に加え、会計業務を外部委託としたこと。本格移行は令和5年度となるが委託に向け今まで行ってきた会計処理方法の見直しを行いました。今後処理方法の整理と統一が取り組むべき課題。委託会計事務所と連携をはかっていきます。情報共有ツールとしてteamsを導入。電話時間の削減に併せ、記録としても残るため、遡っての内容確認にも有用でした。

令和3年度に続き電子申請を活用。新たに「業務管理体制の整備に関する届出」「給与支払報告書」「法定調書合計表」を電子申請に切替えました。申請に関わる時間の短縮とペーパーレスに繋がっています。令和6年度は人事管理ソフトを導入し、人事管理書類の一本化をすすめていく。ソフトを活用し、多岐に渡る人事管理をミスなく迅速にすすめてまいります。